



□新型コロナウイルス感染症には負けない！

連日感染状況悪化の報道が私たちの不安が大きくさせます。先日苫小牧市は独自の感染拡大警報を発令し、続いて北海道が緊急事態宣言に指定されました。事態は深刻です。保護者の皆様の中にも、命を懸けて第一線で闘われている医療従事者の皆さんもいらっしゃるかと思います。改めて感謝いたします。私たち大人も先が見えない不安の中での生活です。子どもにとってはそれ以上ではないでしょうか。そんな子どもたちに寄り添いながら、私たちも感染対策を最優先に、「学びを止めない」よう工夫していきます。どうか、これまで同様、マスク着用、家庭での健康観察の徹底（検温、不良時は休養）、不要不急の外出を避ける・・・今、できる感染予防・対策をみんなで確実にやっていきましょう。

「だいじょうぶです！穏やか日常は必ず戻ります！」

□中体連大会に向けて！やれることに感謝、やるからには・・・！

6月5日（土）から東胆振中体連大会が開幕します。バドミントン種目を皮切りに、7月上旬胆振中体連大会、8月上旬の北海道大会と続きます。運動部にとっては、集大成と位置付けられる中体連大会です。ここでも感染状況から大会関係の皆さんが懸命に大会実施に向けて、頭を悩ませています。3年生部員には、これまでの自身の努力のすべてを発揮してくれることを切に願います。昨年の先輩たちの思いもパワーに変えなければいけません。1，2年生部員はその姿をしっかり自分の目に焼き付け、新たな「なりたい自分」を明確にしてほしいものです。大会は「無観客」が原則で、保護者の観戦は難しい状況です。まずは「大会がやれることに感謝」と思っただけであれば幸いです。送迎等のご協力は必要かもしれません。加えて、万全のコンディションで大会を迎えるようご支援よろしく願います。



□体育祭 新たな形態でやってみよう！

すでにお知らせしたとおり、5月28日（金）体育祭を学年ごとの体育的行事に変更しました。同日に予定していた市内中学校もそれぞれが時期や内容を再検討したようです。本校においては、①感染対策（感染リスクを下げる）、②生徒にとって（学級づくり、中体連）、③保護者にとって（我が子の姿を見たい）、これらを総合的に判断し、【学年ごとの分散開催・保護者参観可】の内容にしました。緊急事態宣言の延長や当日の天候やグランド状況等により、また変更を余儀なくされるかもしれませんが、必ず実施します。保護者の皆様には、変更等は急な連絡になりますが、ご容赦願います。

□修学旅行「行けて良かった、元気に帰って来れたことがなにより」

◇「笑顔～行けることに感謝して～」このスローガンのもと、3年生の修学旅行が無事終ることができました。市内中学校2校が延期をしなければならなくなった中、まずは『実施できたこと』をうれしく思います。そして、2泊3日を『体調不良者やケガ人0（ゼロ）』で乗り切れたことは、生徒たちの力であるとともに、中島昭教諭を中心とした3学年の教員集団のこれまでの指導の賜物です。3日間の中では、はしゃぎ過ぎた？場面もありましたが、（それを学ぶのが修学旅行でもあると思います）改めて、私自身が「明倫中学校の生徒は素晴らしい」と実感できました。それはホテルの方やバスガイドさんからも同様の言葉をいただいています。

◇震災学習「私自身が大変刺激になりました。そこには目指す学びのスタイルが・・・！」

市内中学校の東北地方への修学旅行のメインはこれまで「ファームステイ」であり、人と人の関わり（温かさ）を実感できる魅力がありました。今年を受入れ先の関係で、震災学習になりました。（生徒100人以下だと可能なようです）私も震災学習は初めてでしたが、テレビ等で見た光景を実際に自分の目で見ると、感じるものが大いにありました。震災により身近な方を亡くされた当事者であるガイドさんの話も説得力がありました。ガイド中は繰り返し「津波は避難できる災害」「防潮堤は逃げる時間をかせぐもの」「逃げる意志がなければ、どんな対策をしても助からない」と語っていました。当地では「津波てんでんこ（＝てんでんバラバラに逃げろ）」という言葉が伝わるが、災害時には自分の命は自分で守らなければいけない、他人にも荷物にも構わず、家に戻ってもいけない……そんな教訓が含まれている。それは他人を見捨てろという意味ではなく、各自が自分の安全に責任をもつということである。その当事者の「逃げていたら助かっていた命」という言葉が重く響きました。



2年生宿泊研修7月7日(水)・8日(木) 小樽方面、1年生見学旅行7月6日(火) 白老ウポポイの実施につきまして、緊急事態宣言の解除及び道内の感染状況等を踏まえ、延期や行き先の変更を含め、慎重に判断致します。

生徒たちはどのように感じたでしょうか？ 事前に机上で学習→体験的な活動（自分の目で確かめる、専門家の話を聞く）→意見交流（振り返り）、まさに今求められている「主体的対話的で深い学び」でした。特に、ホテルに到着してからの自分たちが感じたことを発表し合う「振り返り」の時間は、とても良かったです。他者の発表を聞いて、さらに自分の考え、感じ方、気付きを広げることに繋がる、今求められている学びの時間でした。

たろう観光ホテル

1・2階は壁ごと流され、鉄骨がむき出しです。私たちは最上階まで非常階段で上がり、客室で震災当日の映像を見ながら、ガイドさんの話を聞きました。自分の目で、津波の恐ろしさを実感しました。

《保護者懇談を行いました》

1・2年生を対象とした「保護者懇談」を5月7日(金)～13日(木)まで行いました。今までは、この時期、家庭訪問をさせていただきましたが、その変わりとして実施したものです。保護者の皆様には、日中何かと忙しい中、ご来校いただきました。短い時間ではありましたが、いろいろな様子を伺うことができ、大変有益な時間となりました、ご対応ありがとうございました。

《校地内の喫煙について》

参観日や保護者懇談等で保護者の皆様が、学校にお越しになる機会が昨年よりも増えているところですが、校地内は苫小牧市受動喫煙防止条例により、たとえ車の中であっても喫煙することができません。ご理解とご協力をお願いいたします。

《雑巾を寄贈していただきました》

5月11日(火)にしらかば西町内会から雑巾100枚寄贈していただきました。校内清掃を行うのに大変助かります。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

スクールカウンセラー

ほほ ゆか
馬場 結香 先生が毎月来校します

【期 間】

5月～3月（毎月2回程度の勤務）

【目 的】

様々な悩みをもつ人の気持ちが少しでも楽になるように気分転換のお手伝いをしてくれたり、一緒に考えたりしてくれます。

プライバシーや秘密を守ります。

【相談場所】

北校舎2階 心の教室（カウンセリングルーム）

【相談時間】

生 徒：昼休みと放課後

保護者：12：15～16：15

【相談日】 6月は16日(水)と29日(火)の予定

※来月以降は、毎月配布する行事予定表に掲載します

※保護者の方は事前に連絡ください。

（電話 74-2146 窓口：教頭）